



1年生も元気に登校
コロナウイルスに負けるな!

議会ブログはこちら♪



なるせ保育園、民営化へ

保育園運営費 1億759万円

【一般会計】

社会資本整備総合交付金事業 1億2643万円

田子内旧国道線の改良、小型ロータリ除雪車購入。ほか

地域活性化資金貸付事業 1億円

観光施設整備事業 5437万円

中山間地域等直接支払事業 3403万円

奨学金貸付事業 3226万円

観光施設管理事業 2898万円

福祉医療費 2734万円

中小企業振興事業 2493万円

小学校スクールバス運行事業 1924万円

コンビニ交付システム導入事業(新規) 1741万円

ごみ収集事業 1688万円

県単農業夢プラン事業 1561万円

地域創生推進事業交付金(新設) 700万円

各集落への村単補助金を整理・統合した。全体の枠で自由に使用が可能になった。



【特別会計】

統合簡易水道事業(特別会計) 5億8382万円

令和4年度の完成に向けて、機械設備と配水池を整備。



中部地区浄水棟(岩井川字沼又)

■各会計の予算額

会計名		予算額(増減率%)
一般会計		32億9700万円(0.21)
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	2億7792万円(▲0.52)
	国民健康保険(直営診療施設勘定)	8746万円(3.11)
	後期高齢者医療	2807万6千円(10.96)
	介護保険(保険事業勘定)	3億7082万1千円(2.16)
	簡易水道事業	7億4419万7千円(79.52)
	下水道事業	9617万7千円(▲0.32)
合計		49億165万1千円(6.69)

令和2年度当初予算を可決

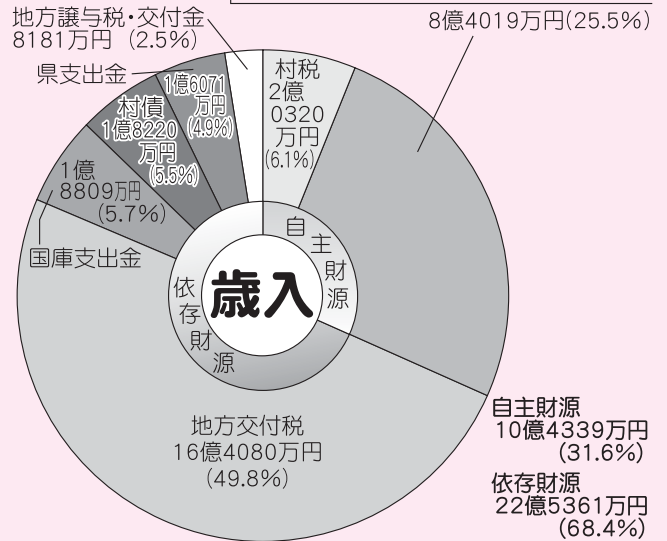
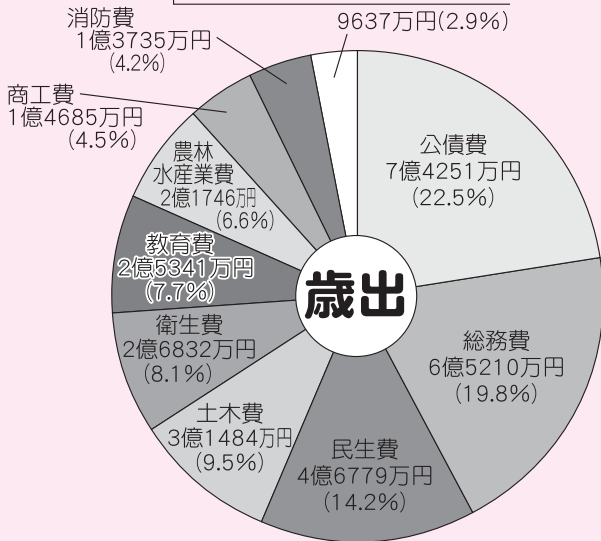
総額

約49億165万円

○一般会計予算(32億9700万円)

- 議会費 5789万円(1.7%)
- 諸支出金 1902万円(0.6%)
- 予備費 1000万円(0.3%)
- 労働費 861万円(0.3%)
- 災害復旧費 85万円(0.0%)

- 繰入金 5億7250万円(17.4%)
- 諸収入・財産収入 2億1687万円(6.6%)
- 繰越金 2000万円(0.6%)
- 使用料および負担金等 1582万円(0.5%)
- 寄附金 1500万円(0.4%)



村の予算は

村民1人あたり (R2.4.1の人口2506人) のように使われます

公債費(借金返済)
29.6万円



総務費
26.0万円



民生費
18.7万円



土木費
12.6万円



衛生費
10.7万円



教育費
10.1万円



農林水産業費
8.7万円



商工費
5.9万円



消防費
5.5万円



議会費
2.3万円



災害復旧費・労働費・諸支出金(貯金)
1.1万円



予備費
0.4万円



令和2年度当初予算

疑問を一掃 徹底審査

歳入

固定資産税について

質問 前年比で521万円ほど増えているが要因は。

答弁 償却資産で196万円、家屋も353万円としている。ダム工事に関係している。

たばこ税について

質問 増加の積算根拠は。

答弁 近年5年の平均で積算している。これもダム工事の影響で若干ずつ伸びている。

入湯税について

質問 前年比で減っているようだが、少なくとも見積もるのではなく、たくさんの人に来てもらえるようにPR策を考え直すべきでは。

答弁 去年は特に土日の悪天候などもあり少なかったこともある。今後も2強温泉をPRし、入湯税が入るよう努力していきたい。

成人病予防補助金について

質問 新たなステージに入ったがん検診総合支援事業補助金とあるが、内容は。

答弁 今まではがん検診の受診率向上を目標にした内容であったが、こちらは精密検査が必要になった方に対する受診推奨分の事務費ということで、上乗せ

になるもの。

雑入について

質問 派遣職員給与負担とあるが、県に派遣している2名分か。

答弁 そのとおりで、県に派遣している2名分となる。いずれも令和2年度で任期満了になる。実際にこちらが支払った金額分、県内のそれぞれの構成団体から負担金という形で歳入される。

歳出

【総務費】

会計年度任用職員制度

質問 公務員一般行政職経験者というのとはどういう方なのか。再任用とは違うのか。

答弁 いわゆる公務員経験者で、公務員のOBのこと。再任用と

は違う職種である。

事務補助員等、業務委託料について

質問 2200万円とあるが積算方法は。

答弁 事務補助員については6人。各施設の維持管理に5人。各公園等のトイレ清掃員1名分を積算している。

地域創生推進事業交付金について

質問 新しい交付金事業であるが、700万円の積算根拠は。

答弁 これまで既存の補助事業を一本化したもので、昨年の実績額から計上した。

ふるさと納税返礼品発送業務委託料について

質問 返礼品発送業務委託に係る経費が、収入の半分であるが。

答弁 返礼品に3割、送料やサイトの手数料等に2割となっている。今後件数が増え、事務作業が困難になってきた場合などは、業務を委託することもあ

る。その場合は手数料が増える可能性がある。

【民生費】

保育園民営化について

質問 人工芝改修で800万円計上しているが。

答弁 設置から9年経っており、使用が難しくなったため計上した。夏場にプールを置き、園児が走りまわって遊ぶところになっており、コンクリートだと非常に危険なため、改修が必要である。



成瀬ダム工事のようす



敬老会

質問 民営化に伴い、保育の質は維持出来るのか。

答弁 運営等については今後も注視していく必要がある。民営化する最大のメリットは財政上の負担軽減と保育士の処遇改善なので、十分に反映されるよう、また保育の質の更なる向上を目指し今後も努力したい。

敬老会関係について

質問 対象年齢を引き上げることだが、新たに70歳となる方は75歳まで参加できなくなるということがあるか。

答弁 他市町村の動向などを踏まえ、検討を重ねた結果、対象年齢を75歳に引き上げることとした。

【農林水産業費】

循環拠点施設施設管理料について

質問 指定管理となれば、何人体制で作業を行うのか。炭化する機械は更新していくのか。

答弁 これまでは村職員1名と協議会から2名の3人体制であったが、指定管理となった場合は2人体制の予定。機械はローラー等のパーツの交換をすればしばらく持つものと認識している。

質問 指定管理料の積算方法は。

答弁 大きく分けて3つになる。建物維持管理分、もみ殻炭化業務分、EM活性液製造分で積算している。

質問 元年度はEM関係は74万5千円となっているが、120万円計上しているのはなぜか。

答弁 元年度は人件費分として74万円の他に、原材料費として50万円となっている。合わせるると120万円ほどになり、経費としては変わっていない。

質問 元々は水田農業に付加価値を付けるために、採算がとれなくてもやる事業だと説明された。建設から3年という短い期間での今回の指定管理には疑問が残る。

答弁 指定管理はいわば手法の一つであり、経費の節減を図る意味で、施設を維持するために今現在最良の方法として指定管理を提案している。

水稲経営設備増強事業補助金について

質問 1法人とあるが、どこか何を購入して補助するのか。また、元年度は何を購入したのか。

答弁 元年度は滝ノ沢ファームと手倉ファームとアグリード仙人がGPS付き田植機1台ずつ、岩井川ファームが食味計付きのコンバイン1台を購入した。2年度は滝ノ沢ファームが食味計付きコンバイン1台を購入する予定で、予算計上している。

【商工費】

観光物産協会補助金について

質問 イベントの補助金約256万円、観光物産協会の補助金約741万円と分かれているが

答弁 イベントの補助金は、観光部門と物産部門にそれぞれ3イベントの経費の9割を補助金として計算している。

他の市町村では宿泊の案内や観光案内などを行っているようだが、村の観光物産協会はどうか。

答弁 問い合わせの窓口となり、山の案内人の手配を行ったりしている。物産に関してはふるさと納税の返礼品の対応を行っている。

【消防費】

防災無線バッテリー交換について

質問 13年耐用と書いてあるが、まだ13年経過していないようだが。

答弁 現在使っているバッテリーは耐用年数が7年のもので、今回新しく交換するものが耐用年数13年のものになるといふこと。機械寿命が延びたということになる。

質問 バッテリー交換だけで66万円か。

答弁 この委託料にはバッテリー交換の他に年間の保守点検委託料、Jアラートの作業、立ち会いも含まれている。

【教育費】

縄文ロマン事業について

質問 事業は毎年続くのか。

答弁 縄文ロマン事業の一環として平成20年から始まった。令和3年度にはこれまでの成果についてまとめて報告書を作成する予定。



上捨遺跡の発掘作業

3月定例会議



東日本大震災で被害にあった方々に黙祷を行いました。

3月定例会議は、3月3日から18日までの16日間の審議期間で開催されました。

報告5件、条例案15件、議決案4件、予算案16件の合計40件を審議。陳情2件を採択として、議員発議の意見書2件を含むすべての議案を全会一致で原案のとおり、可決しました。

2日目には、一般質問が行われ、4議員が登壇し、村政を質しました。

指定管理

○特別養護老人ホーム幸寿苑

団体名：社会福祉法人雄勝なごみ会
理事長 京野 公子

【期間】

令和2年4月1日～令和7年3月31日



○デイサービスセンターなるせ

団体名：社会福祉法人雄勝なごみ会
理事長 京野 公子

【期間】

令和2年4月1日～令和7年3月31日



○田子内ミニライスセンター

団体名：農事組合法人アグリード仙人
代表理事 佐々木 進

【期間】

令和2年4月1日～令和7年3月31日



○東成瀬村循環拠点施設

団体名：農業生産法人連絡協議会
会長 柳 一雄

【期間】

令和2年4月1日～令和7年3月31日



議案質疑

3月定例会議最終日18日の議案等に対する主な質疑の内容を要約してお知らせします。

○循環拠点施設の指定管理について

質問 選定先が法人格をもたない団体であるが、これまでの委託先であったために可能としたものか。

答弁 団体であれば法人格は問わない。業務の受託先だったことも当然指定管理者の選定要件の一つになっている。構成団体がすべて法人格をもつ団体であることから、いわば共同事業体という扱いをして指定管理者としてふさわしいということと決定した。



もみ殻炭化装置

質問 指定管理先の住所が役場の所在地になっているが、指定先としてふさわしいのか。

答弁 指定先は事務局を役場内に置いている。協議会として職員も抱えている団体であり、個人ではないため指定先としては問題ないと考えます。

○育苗センター設置条例について

質問 条例に書かれている中で、水耕栽培の普及に資する事業はどの部分に入るのか。また、現在水耕栽培は行われていないようだが。

答弁 現在は水耕栽培の事業は行っていない。今後新たな政策事業として業務を行う場合は、第4条の第3号にある、その他村長が必要と認める事業、この中に入ることになる。

質問 水耕栽培をやめた理由は、あの建物はどうのように使うつもりなのか。

答弁 かつては県との共同プログラムを行っていてレタス、イチゴなどを栽培した経緯がある。そのときに地下水ヒートポンプ、雪冷房施設を付帯した形で出来ないか実証したが、電気料等莫大な経費が掛かるため、現在停止している状況である。実証は終了したが、村内に水耕栽培を取り入れている会社も現在ある。

今後は、指定管理先のこまち農協と、アグリード仙人で文書を交わし再委託という形で管理することで報告が来ている。



レタスの水耕栽培の実証実験



更新した機械での水稻播種作業

質疑白熱

令和元年度一般会計補正予算(第6号)の歳出に対する主な質疑の内容

農林水産業費について

質問 条件不利農地を担う経営体支援金、機構集積協力金それぞれ減額されているが、今年度の集積見込面積、筆数はいくらか。

答弁 条件不利農地を担う経営体支援金は0・9ヘクタール、9筆。集積協力金は1・3ヘクタール、13筆の実績見込となっている。

コピー使用料について

質問 電子化等で削減されているようだが、今後さらに進めていくとどの程度の範囲で削減可能か。

答弁 コピーから導入予定のインクジェットへシフトすれば4割程度の削減効果が期待される。あとは電子ファイルの推進化や、消耗に近い文書等はインクジェットでの印刷で更に削減が図れるのではと考える。

宿泊施設について

質問 今回の新型コロナウィルスの影響で、宿泊施設がどの程度キャンセルが出ていて、金額的にはどれほどの損失になっているか。

答弁 3月12日現在では、およそ400人分の宿泊キャンセルが出ており、金額にすると約400万円の減収となっている。宴会等については現在、集計している。開催予定だった20日からのスノーボード大会関係のキャンセルの影響も合わせると影響はもっと大きいものと思われる。

小学校費・中学校費について

質問 電力会社の変更での補正と聞いたが、今進めている民間の電力会社に変更した場合、どのくらい経費が抑えられるのか。

答弁 小中学校ではだいたい年間10万円ほど安くなる見込み。給食センターに関しては50万円ほど削減出来る見込み。

令和元年度一般会計補正予算(第6号)の主なもの

歳入	
○国庫支出金	
自立支援給付費負担金減	▲119万円
特定個人情報提供等関連事務交付金減	▲198万円
社会資本整備総合交付金減	▲4020万円
○県支出金	
機構集積協力金事業補助金減	▲118万円
秋田県議会議員選挙市町村交付金減	▲263万円
○財産収入	
土地売払収入(成瀬ダム工事関係)	153万円
物品売払収入(公用車3台、除雪車1台)	411万円
○諸収入	
地域活性化資金貸付金収入減	▲2000万円
雑入(派遣職員負担金2名分等)	1574万円
○村債	
過疎対策事業債減	▲630万円
緊急防災・減災事業債減	▲550万円

歳出	
○総務費	
人件費(早期退職に係る負担金等)	554万円
印刷製本費(例規集)	116万円
公有林整備管理委託料減	▲389万円
地域活性化資金貸付金減	▲2000万円
○民生費	
国保特別会計繰出金減	▲221万円
介護保険特別会計繰出金	96万円
○衛生費	
簡易水道特別会計繰出金減	▲1306万円
下水道特別会計繰出金減	▲423万円
○土木費	
社会資本整備総合交付金事業費減	▲6477万円
修繕料	150万円
村道除雪委託料減	▲150万円
○消防費	
燃料費減	▲140万円
○教育費	
郷土誌編集事業費減	▲90万円
○諸支出金	
財政調整基金積立金	6900万円

高橋 清 一 議員



村道整備等についての考えは

村長 緊急性等総合的に判断し検討

質問 人口減少・少子高齢化などで自己財源の少ない当村では、今後財政の硬直化が進み様々な部分でスリム化を模索する必要が出てくる。これまでは積極的に生活環境の整備を推し進めてきたが、村道等の整備について、今後の方向性を聞く。

村長 村道の大規模改修事業は終了していると考ええる。現在は維持管理と長寿命化など緊急性等総合的に判断し、整備などを検討していく。

旧細川宅横の交差点整備は

質問 旧細川宅が村に寄付された。これまで交差点の狭隘から、大型車輛の進入が出来なかつた箇所である。村で推し進めている森林環境の整備促進により、伐採された高価格の木材を搬出出来るようになるのではと考える。旧邸を解体し交差点の整備を進めるべきと考えるが、村はどう考えているか。

村長 今回寄付された方からは解体を前提としたものではない。住宅として使用したいとの希望者も出ており、今後総合的に判断しどのように整備したら良いのかを検討していく。

携帯電話の学校を通じた指導は

質問 中学校では約9割の生徒が所持していると聞いた。学校への持ち込みは禁止して

いるようだが、全国各地で問題が発生しているインターネットの使用等について、学校を通して家庭での利用方法の指導はどう行っているのか。

教育長 保護者にはPTAなどを通して、家庭でのルール作りをお願いやまた研修会なども開催している。学校の授業の中でも指導しており、タブレットに巻き込まれないように今後もしっかりした対応をしていく。

SNSや掲示板使用の指導は

質問 家庭での使用、特にSNSや掲示板等の利用、フィリタリングをどう指導しているのか。

教育長 使用年齢で、フィルタリングを掛けなければいけないことも決まっている。また、これに従って使用されていると考える。子どもが納得するような、時々の新聞記事なども利用し、今後も指導を強化していく。



田子内旧国道沢方入口

佐々木 正 利 議員



なぜ民営化にするのか

教育長 普通財産への転用が認められた



民営化するなるせ保育園

質問 過去にも保育園を民営化した経緯もあったようですが、なぜ、令和2年度からなるせ保育園を民営化するのか。

教育長 過去に財政負担、保育園係職員の体制等の充実と確保から、やまゆり保育園とこばと保育園を民営化した。

その後、なるせつ子夢センターの建築があり、平成23年4月に統合の保育園ができ、公立保育所として、村が運営し、保育会へ委託して現在に至っている。夢センターができた23年から民営化したかったが、民営化して施設を貸与する場合は、財産が普通財産でなければできないということがあった。村の行政財産であるとの位置づけになったことから対応できなかった。この度、県から普通財産への転用が認められた。

再質問 民営化した場合、村の関わりはどのように変わっていくのか。

教育長 村は年1回、保育園の指導監査を行う立場であり、保育にかかると人的体制、防犯対策、保育環境等はどうなのかについて監査している。すこやか子育て支援事業に沿って、給食費の助成、一時預かり事業、延長保育事業についても支援していく。

再々質問 派遣されている職員今後の処遇は。

教育長 処遇については、村職員のまま派遣する。給与は、法人が負担するという仕組みになっている。

業務委託する職種は

質問 会計年度任用職員まで要しないと判断した職種を委託する方針だが、具体的にはどのような業務か。

村長 庁舎内での一部の事務業務、岩井川コミュニティ広場や観光施設あるいはトイレの清掃業務、地域交流センターゆるるん、ふる里館、まるとこと自然館の施設管理業務を業務委託とする職種と考えている。

質問 庁舎内の一部事務とは、どんなことをやらせるのか。

村長 それぞれの所管課で、課長の裁量で一般行政事務等についての補助業務というふうに理解していただきたい。

伊勢谷 勝 美 議員



エス・ディー・ジーズ

SDGs宣言し、村のアピールを

村長 これまで通りSDGsに沿った行政施策に取り組む

1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう
6 安全な水とトイレを世界中に 	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も 	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任つかう責任 	13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさを守ろう
16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 	<h3>17の国際目標</h3>		

質問 SDGsとは、2015年に国連サミットで持続可能な開発目標として採択された国際開発目標である。この取り組みを通し、村づくりをしていくべきと考えるが。

再質問 日本全国にSDGsを宣言して、率先的に取り組んでみてはどうか。

村長 村では環境に配慮した取り組みを以前からしている。宣言をしなくても、これまで通り粛々と行政施策に取り組みしていくことでSDGsへの取り組みにつながると思われる。

特定地域づくり事業は

質問 6月より施行予定の事業への取り組みについて伺う。

村長 特定地域づくり事業は今年6月から施行される新しい事業。事業者が出資し組合を設立。そこで採用された職員を不足している事業所に派遣する内容。

再質問 若い人たちが村で働けるように条件を整えてほしい。国では組合に登録した人材に400万円程度とあるが。

村長 事業の計画の中では1人当たり400万円。厚生年金、社会保険含めて保障する事業である。その趣旨に沿って行われる。

防災減災対策は

質問 昨年は特別警報が13回も出た年であった。災害を想定し対策するべきと考える。夜間避難の訓練も考えるべきでは。

災害発生時の住民避難保険に加入しているか。保険料はどれくらいか。

村長 夜間の訓練も大事だと思う。各地区の自主防災組織が中心に今後対応していただきたい。

災害保険には、全国町村会主催している災害対策費用保険制度に加入している。保険料は年間70万円で1500万円まで保障される。

再質問 まずは自分を、次は地域であると考え。高齢化していることを踏まえ、夜の避難を考えるべきでは。

村長 夜は無理な行動をしないことが原則のようだ。そのことも踏まえ、今後も検討していく必要があると考える。

佐々木 悦 男 議員



村に進出予定の会社とは

村長 秋田市の人的サービスを行う会社である

質問 村に進出予定の会社は、具体的にどのような業務内容か。

役員内、公共施設、栗駒リゾート、成瀬ダム等の仕事に参入するのか。

村長 平成23年4月設立の秋田市の会社で、広告代理業、イベント企画制作、インターネット関連業務、産直運営、生前整理事業等を行っている。事業協同組合との関連もあるが、役員内一般事務、トイレ施設清掃や管理業務を委託予定。栗駒リゾートではすでに業務実績がある。成瀬ダム振興事業協同組合の会員でありダム事業に関っていると理解している。

証明書コンビニ交付システム

質問 現在の自動交付機での1件当り使用経費はいくらか。また、10月導入の新システムによりコンビニでの交付見込件数は。

新システム導入で人件費等削減になるのか、他市町村導

入結果等の様子見の考えはないのか。

村長 初期費用を別とすれば平成30年度686件で、1件9600円。新システムは10月からで半年分300件を見込む。

マイナンバーカードの取得率が向上する見込みであることから利用件数も今後増加することを期待している。導入目的が、村民の利便性向上であり、朝6時30分から深夜23時まで利用可能で、窓口対応の時間が短くなれば業務改善となる。導入に当たり、様子見という考えは無い。

栗駒リゾート宿泊施設の定休日

質問 定休日を設けることで人材派遣職員経費を抑えられるのか。

定休日は週1回なのか、月何回となるのか。このことで営業に大きな支障は無いのか。



9月で終了する予定の自動交付機



休業日のホテルブラン

村長 会社内部で詰めをしているところであるが、働き方改革の影響もあり、厳しい勤務体制であり、定休日設定だけでは人材派遣業者からの職員数を抑えられる状況ではない。

ホテルブランで4月から11月までの繁忙期を除き週1回休業、但し、入浴、素泊まり宿泊、急な葬儀等には対応する方向で協議。決まり次第広く周知したい。営業に支障が出ないよう、努力して行く。

3月定例会議議決事項名

専決処分の報告について※一般会計補正予算(第5号)
専決処分の報告について ※国保(直診勘定)特会補正予算(第3号)
専決処分の報告について ※介護保険(介護サービス)特会補正予算(第1号)
専決処分の報告について ※簡易水道事業特会補正予算(第2号)
専決処分の報告について ※下水道事業特会補正予算(第2号)
監査委員に関する条例の一部を改正する条例について
固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について
職員定数条例の一部を改正する条例について
特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
手数料条例の一部を改正する条例について
青少年問題協議会設置条例を廃止する条例について
自然公園設置条例の一部を改正する条例について
村立保育所設置条例等を廃止する条例について
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
循環拠点施設条例の一部を改正する条例について
ミニライスセンター設置条例の一部を改正する条例について
米利用施設設置条例の一部を改正する条例について
育苗センター設置条例の全部を改正する条例について
道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について
村営住宅管理条例の一部を改正する条例について
指定管理者の指定について※特別養護老人ホーム
指定管理者の指定について※デイサービスセンターなるせ
指定管理者の指定について※東成瀬村循環拠点施設
指定管理者の指定について※田子内ミニライスセンター
令和元年度一般会計補正予算(第6号)
令和元年度国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)
令和元年度国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第4号)
令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
令和元年度介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第4号)
令和元年度簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
令和元年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)
令和2年度一般会計予算
令和2年度国民健康保険特別会計(事業勘定)予算
令和2年度国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)予算
令和2年度後期高齢者医療特別会計予算
令和2年度介護保険特別会計(保険事業勘定)予算
令和2年度簡易水道事業特別会計予算
令和2年度下水道事業特別会計予算
令和2年度簡易水道事業特別会計への繰入れについて
令和2年度下水道事業特別会計への繰入れについて

議 会 改 革 の 取 組

令和2年から新たな取り組みとして「議員間討議」を行っています。

議案に対する理解を深めるために上程議案の内容等を議員間で協議するものです。



請 願 ・ 陳 情

3月定例会議で3件の陳情が提出され、総務教育民生常任委員会、産業建設常任委員会にそれぞれ付託。審査の結果、2件を採択すべきものとし、要請に基づき意見書を提出することに決定した。

採択とした陳情

- 免税軽油制度の継続を求める陳情
(陳情者) 東北索道協会秋田地区部会
会長 東海林 文和
- 最低賃金の改善と全国一律制にすることを求める陳情
(陳情者) 秋田県春闘共闘懇談会
代表委員 石川 洋基 外1名



あなたも議会の傍聴に来てみませんか？
次回定例会は6月上旬開会の予定！

視察レポート

日本一雪に強い村づくりについて

総務教育民生常任委員会 ・ 産業建設常任委員会

大蔵村の概要

大蔵村は、山形県の中央に位置する、人口3044人の村で、大部分を山々に覆われた自然豊かな村であり、役場周辺から、観光地である肘折温泉までは約20キロメートルの距離があった。村に鉄道路線は通っておらず、当村と類似している部分も多かった。

本州屈指の豪雪地帯であり、年最深積雪は321センチメートルを記録している。

「日本で最も美しい村」連合にも加盟している。

雪を活用した取り組み

村道延長137キロメートルのうち除雪延長は62キロメートル。全路線を村所有の除雪車を貸与しての業者委託であった。各集落内はロータリ除雪車に対応しているため、「置き雪」等の苦情が少ないとのこと。観光では、豪雪を逆手に



肘折希望大橋

取り、「ドカ雪や大雪の時に肘折温泉を訪れるとお得」とPRし、冬季の宿泊客・日帰り客の増加につなげることを狙いとして、ドカ雪を前面に出したPRを実施していた。

また、例年行われている「大蔵雪ものがたり」のイベントでは、巨大雪だるまを製作したり、スコップを使い地面を早く出す競技を開催したりと、雪をうまく使い村をPRしていた。

また、山間部の除雪は村道認定に関わらず各家屋全部に機械が入り、玄関先まで除雪を行っていたり、村民に寄り添った除排雪を行っていた。

6次産業化の取り組み

平成30年4月から創業している、村で建設した農産加工施設を見学した。

施設は、雇用の場の確保、中山間地域の農業振興、特産品開発とブランド化を目的に、村が約4億円をかけて整備したもので、民間企業に貸出していた。

山菜や野菜の加工品、しそ巻きなどの製造販売を手がける食品会社で、機械などはすべて会社で整備していた。



農産加工施設を見学

全従業員22人中、7名が村民であり、新卒者の採用も行っていた。

今後さらに山菜を含めた村の農産物を受け入れたいとのことであった。

大蔵村では当村とは違う取り組みを行っており、今後の事業を検討する上で大変参考になった。

議会だより 祝 200号記念

バックナンバーを振り返って・・・

第1号



第100号



第50号



第150号

昭和47年に創刊された議会だよりも、いよいよ200号となりました。村民の皆様のご理解と関わってこられたすべての人々の努力のたまものと、深く敬意と感謝を申し上げます。今後とも、議会だよりをよろしくお願ひします。 広報特別委員一同

暫時
ご休息
きゆうけい

▼記録的に雪が少ない冬であった。豪雪の村としては、今年の冬、そしてこの春の風景はかつて経験した事がないと言っても良いのではないか。世界的にも一月の平均気温は過去最高で、やはり影響があったようだ。

▼そのような時期に、新型コロナウイルス感染症の流行が始まり、今現在、日々の暮らし、学校行事、仕事、オリンピック延期と、あらゆる場面で影響が出ている。

▼全世界で広がりを見せているが、村においても今後どのような影響があるのか、様々な情報が出てくる中、個人個人がどのような対応をするべきか注視して行きたい。

▼いつもより早い春の中、今期の農作業が進んでいる。高品質な村の農産物。この様な時も変わらず生産し、しっかりと継続することがいっそう大事になっているのではないか。

(委員・佐々木修)

しょうずにかけるかな?



今回は、なるせ保育園ひまわり組のみなさんに**大好きなもの**の絵をかいてもらいました!



たかはし
かのんちゃん



アナと雪の女王(オラフ)



たいら
さなちゃん



ねこ

たかはし
せいごくん



おべんとう

あの質問はその後どうなったの?

平成28年3月定例会議での佐々木正利議員の一般質問

「ふるさと納税に関する質問」について

追跡調査しました!



質問

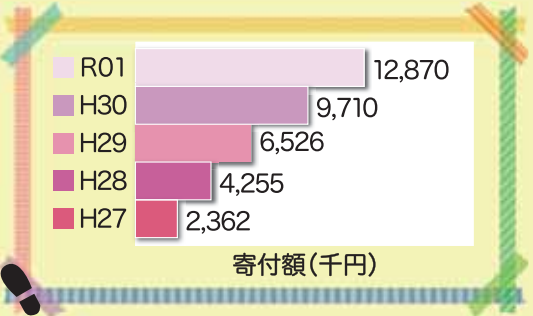
ふるさと納税してくれた方に対して、村のPRを含めて赤べごの肉や村を訪れ宿泊していただく企画など、返礼品を村のホームページ上に載せ、寄付していただくようにすることはできないか。

回答

ホームページでふるさと納税を詳しく案内出来るよう努力していく。他県では肉は大変好評だときくので、村の特産品の赤べごを返礼品に加えることも進めてまいりたい。



ふるさと納税サイトより
幻の短角牛「赤べご」



その後どうなったのか...

H28にふるさと納税カタログを作製。H29からはふるさと納税サイトも活用し、赤べごや仙人米、桃太郎トマトなど、村の特産品を中心にした返礼品を揃えた。その結果、順調に寄付額が増えている。またホームページからもサイトへご案内出来るようになっている。